

2019年5月10日

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

## 2018年度東海3県集客施設調査の結果を公表

### 夏の猛暑・台風が影響し約5割の施設で集客数減少 施設の拡充やSNSによる情報発信が集客を下支え

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：村林 聡）は、「2018年度東海3県主要集客施設・集客実態調査」の結果をとりまとめましたので、お知らせいたします。

#### 1. 本調査について

本調査は、東海3県（愛知、岐阜、三重）の集客施設における集客実態を把握するため、毎年4月に実施しているもので、今回は75施設から回答を得ました。この回答をもとに、2018年度（2018年4月～2019年3月）の集客人数とその増減率のランキングに整理するとともに、集客施設における消費動向・消費単価、集客に影響を及ぼす要因、客層の変化などに関する設問から2018年度の各施設における集客実態を分析しました。

#### 2. 調査結果の要旨

##### (1) 集客数上位施設について

首位は13年連続で「ナガシマリゾート」。上位5位の順位は昨年同様でした。

順位	施設名	集客数	結果分析
1	ナガシマリゾート	1,550万人	13年連続で首位。猛暑の影響で遊園地利用客数が減少したものの、首都圏、近畿圏からの高速バス路線の開設、屋内アイススケート施設の20年ぶりの再開等により対前年度比増となった。
2	刈谷ハイウェイオアシス	約848万人	猛暑、台風が影響し、集客数は対前年度比で減少した。
3	中部国際空港セントレア	約748万人	新たな複合商業施設フライト・オブ・ドリームズの開業（2018年10月）が集客増に寄与し、対前年度比21.6%増となった。
4	国営木曽三川公園・河川環境楽園自然発見館	約463万人	猛暑によるイベントの中止や台風・豪雨により夏休み期間中の集客数は対前年度比減となったが、年間では対前年度比2.2%増となった。SNS上の口コミを見て訪れる人が増加傾向にある。
5	ナゴヤドーム	約461万人	コンサート開催日数の増加、中日ドラゴンズ松坂大輔投手の活躍等が集客数増加の要因となった。

##### (2) 対前年度増減率の傾向について

集客数の対前年度増減率をみると、比較可能な74施設中38施設（51.4%）で減少となりました。特に屋外施設では、猛暑による外出自粛や猛暑・台風による臨時閉園・屋外イベント中止が集客減に影響しました。一方、新たな施設のオープンにより集客増を果たした施設やSNSを活用した集客が奏功した施設もありました。

増減	増加要因	該当する主な施設
増	新たな施設のオープン	中部国際空港セントレア（フライト・オブ・ドリームズ）、名古屋城（本丸御殿、金シャチ横丁）、新城総合公園（フォレストアドベンチャー・新城）、安城産業文化公園デンパーク（あそぼーネ、リーチ・フォー・ザ・スカイ）など
増	SNSによる集客	竹島水族館、国営木曽三川公園・河川環境楽園自然発見館など
減	猛暑・台風による臨時閉園・屋外イベント中止	岐阜ファミリーパーク、久屋大通庭園フラリエなど

### (3) 来訪者の動向について

集客における SNS の活用状況についてみると、約 5 割に相当する 30 施設が「施設からの SNS での情報発信により集客数が増加」と回答しました。また、約 7 割の 26 施設が「SNS での口コミを見た来場者が増加」と回答しており、集客における SNS を活用した情報発信の効果が大きいといえます。

外国人旅行者の来訪状況を見ると、約 4 割の 21 施設が「団体客が増加」、約 5 割の 24 施設が「個人旅行者が増加」と回答しており、依然として増加傾向にあります。最も多い来訪国・地域は、「中国」と回答した施設が約 6 割で最も多く、次いで台湾、香港、韓国がそれぞれ約 1 割を占めています。

調査結果の詳細につきましては、当社ホームページ掲載の政策研究レポートをご覧ください。

[https://www.murc.jp/report/rc/policy\\_rearch/politics/seiken\\_190510/](https://www.murc.jp/report/rc/policy_rearch/politics/seiken_190510/)

#### 【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社  
名古屋研究開発部 研究員 加藤 千晶  
〒461-8516 名古屋市東区葵 1-19-30 マザックアートプラザ

#### 【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 杉本(TEL:052-307-1106) E-mail:info@murc.jp

配布先 名古屋金融記者クラブ